

ホロホローの森の動物

ここでは、森の一部の動物をご紹介します。



シロオビアゲハ

アゲハチョウ科

前翅長48mm内外。後翅に帯状の白斑がある、沖縄で最もふつうに見られるアゲハチョウ。II型と呼ばれるメスはベニモンアゲハに擬態しているとされます。食草はサルカケミカンなどミカン類。



アオスジアゲハ

アゲハチョウ科

前翅長47mm内外。翅形は細長く、アゲハの仲間の中でも敏しょうに飛びます。翅は黒色で中央に青い帯が目立ちます。食草はクスノキ科のヤブニツケイ、タブノキ、シロダモなどです。

ホロホローの葉を
食べるんだよ！



オオゴマダラ

タテハチョウ科

前翅長65~70mmで、日本最大のチョウの一つ。翅は白色で黒色の斑点があり、フワフワと羽ばたいて林内をゆっくり飛びます。食草はハウライカガミで、蛹は黄金色に輝きます。



台湾キドクガ

ドクガ科

前翅長13~16mm。前翅はうす黄色の小型のが。幼虫は黄色に体側面に黒斑があり毒針毛をもつため、皮膚に触れるとかぶれます。幼虫は、ギンネムやモモタマナのほか多くの植物を食べます。



クロマダラソテツジミ

シジミチョウ科

前翅長15mm内外で翅の表は青色、翅の裏は淡褐色で、後翅に黒点が目立ち、細長い尾状突起があります。1992年に沖縄島に迷蝶として飛来し、その後定着しました。食草はソテツで、成虫もその周辺で見られます。



ツマムラサキマダラ

タテハチョウ科

前翅長50mm内外。翅形は横に長く、前翅の先は青紫色で、オスは特にあざやかです。メスの後翅には多数の白線があります。1992年から沖縄島に定着しており、食草はリュウキュウテイカカズラやガジュマルなどです。



ナナホシキンカメムシ

キンカメムシ科

体長約20mm。体は金属光沢のある緑色で、背面に7つの黒色斑があるためその名があります。葉の裏などに集まる習性があり、ホロホローの森でもよく集団が見られます。



セグロアシナガバチ

スズメバチ科

体長約23mm。体の斑紋は褐色~黄色で、キアシナガバチとよく似ています。単独で訪花している際などは襲ってきませんが、巣を刺激すると攻撃してくるので、近づかないようにしましょう。